

■特集■ 第41回日本アルコール・薬物医学会総会 シンポジウム9

「職場での飲酒指導 γ -GTP高値者のためのガイドライン」

職場での節酒指導 γ -GTP高値者のためのガイドライン案

加藤眞三、高木 敏 103(3号)

メタボリックシンドロームの時代におけるgamma glutamyltranspeptidase (γ GTP)の意義；基礎と臨床の知見からの考察

横山裕一 110(3号)

産業医として飲酒の管理から見た γ -GTP

及川孝光 125(3号)

■総説■

Role of tyrosine kinase-dependent phosphorylation of NR2B subunit-containing NMDA receptor in morphine reward

Hideaki Kato, Minoru Narita, Masami Suzuki, Kanji Yoshimoto, Masahiro Yasuhara and Tsutomu Suzuki 13(1号)

犯罪被害者の精神健康とメンタルヘルスサービス

中島聡美、白井明美 21(1号)

細胞内カルシウム動態変化からみたアルコール精神および身体依存形成

桂 昌司、芝崎真裕、大熊誠太郎 59(2号)

脳発達期アルコール曝露による概日リズムの障害

坂田ひろみ、福井義浩 67(2号)

嗜癖行動障害

正木大貴、土田英人、北林百合之介、谷 直介、福居顯二 469(5号)

■企画■ 教育委員会からの推薦論文

依存性薬物による精神依存および身体依存形成機序の相違

桂 昌司、芝崎真裕、黒川和宏、大熊誠太郎 481(5号)

精神疾患の脳画像診断の進歩 -アルコール依存症における脳の形態学的変化の解析-

松下幸生、樋口 進 615(6号)

アルコール性肝障害における肝移植の適応、重症型アルコール性肝炎、アルコール性肝硬変について -欧米との比較

鈴木知己、山下健一郎、谷口雅彦、嶋村 剛、高木由希、
山本真由美、古川博之、藤堂 省 622(6号)

■原 著■

3回の全国調査における中学生・高校生の飲酒の減少傾向

鈴木健二、尾崎米厚、和田 清、松下幸生、林 謙治、
大井田隆、兼板佳孝、神田秀幸、簗輪真澄、谷畑健生 138(3号)

定時制高校生における飲酒・喫煙・薬物乱用の実態について

嶋根卓也、和田 清 152(3号)

日本の薬物依存症者に対するマニュアル化した認知行動療法プログラムの開発とその有効性の検討

森田展彰、末次幸子、嶋根卓也、岡坂昌子、清重知子、
飯塚 聡、岩井貴代仁 487(5号)

覚せい剤依存患者に対する外来再発予防プログラムの開発 -Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program(SMARPP)-

小林桜児、松本俊彦、大槻正樹、遠藤桂子、奥平謙一、
原井宏明、和田 清 507(5号)

The relationship between alcoholism and DBI gene polymorphism in Japanese-genotyping of the +529A/T in DBI gene polymorphism based on PCR-

Chikako WAGA, Kazutaka Ikeda and Kazuhiko Iwahashi 629(6号)

薬物問題を持つ家族へのグループ援助プログラムの実践と評価

西川京子 635(6号)

■短 報■

Saturated and monounsaturated fatty acids increase interleukin-10 production in rat hepatocytes

Yoko Nishitani, Shunichiro Okazaki, Kiyomi Imabayashi,
Ryuichi Katada, Kojiro Umetani, Hidetaka Yajima
and Hiroshi Matsumoto 32(1号)

飲酒量と頸動脈超音波所見 -メタボリックシンドロームにおける検討-

大石 実、藤岡和美 36(1号)

■症 例■

入退院を繰り返した後、精神科デイケア通所によって安定した有機溶剤精神病
の2症例

大見陽子、石川雅裕、和多田裕、北林百合之介、山下達久、
福居顯二 76(2号)

■その他■

ISBRA2006, Sydney参加報告 565(6号)

[目次一覧へ戻る](#)